

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査について

1 実施日 平成31年 4月18日（木）

2 調査対象 第3学年生徒 78名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力に関わる内容

上記①と②を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語、数学、英語、すべて全国平均を下回りました。
英語「話すこと」は全国平均と同程度でした。

特に、 国語では「話すこと・聞くこと」
数学では「資料の活用」
英語では「書くこと」 の領域に課題が見られました。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

○生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。

○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。

課題が見られた項目

●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか。

●学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む） ※2時間以上学習する生徒の割合。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果において、教科の正答率以外の項目（生活習慣・学習習慣、自己有用感、規範意識、教科への関心）については、おおむね全国平均と同程度でした。このことから、最大の課題は「授業の質を向上させ、わかる・できる授業へと改善していくこと」であると考えます。そこで本校では「ふくしまの授業スタンダード」及び「家庭学習スタンダード」を徹底し、特に次の3点について重点的に取り組んでいきます。

① 授業のなかで「前時の復習」と「本時のまとめ」を必ず行い、学習内容を確実に習得させる。

② 教師が「説明する」時間を減らし、授業の30分以上を「生徒が自分の頭と体を動かし、課題に取り組む時間」にする。

③ 生徒一人一人の実態に応じた家庭学習の仕方を指導し、平日90分、休日3時間以上は家庭学習に取り組む時間を確保する。

6 保護者や地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

① 計画的・継続的に家庭学習に取り組めるよう、励ましの言葉をかけてください。

② 新聞やテレビのニュース等で話題になっていることを積極的に取り上げ、社会や地域で起きている事柄についての関心を高めてください。